

質の高い教育で地域をマネジメントするには

開倫塾

塾長 林明夫

(開倫塾日本語学校校長)

Q1: 「質の高い教育」とは何ですか

A : (1) 「予習」「授業」「復習」「定着」とていねいに取り組み、「学んだことを自分のことばで言える(表現・説明できる)こと」を目指す教育

- ① 「自分のことばで言える(表現・説明できる)こと」を目指すことが最も大切と考えます
- ② そして「自分から進んで学ぶ力」「主体的に学ぶ力」を身につける
- ③ このような教育こそが「多様な選択肢のある人生を歩む」「正常に機能する社会の形成に貢献する」ことにつながると考えます

(2) 「予習」とは、何がわからないかをはっきりさせて授業に臨むために行うこと

- ① テキスト、資料をていねいに読む
- ② よくわからない語句は、辞書やインターネットで調べ、調べたことは書き写し、覚える
- ③ テキストや資料をしっかりと読み、どのような内容かを「理解」する
- ④ 大切なことは、その場で覚える(暗唱)、書けるようにする
- ⑤ 計算や問題は、ノートに解く



(3) 「授業」

- ① 先生のお話をよく聴き、テキストや資料でよくわからないことを「理解」する
- ② クラスメートの発言をよく聴き、意見があれば述べる
- ③ 大切なことはすべてメモする

* 発言や質問の場合には、メモをしてから行う

(4) 「復習」

- ① テキストや資料、授業ノートをもう一度ゆっくり読む
- ② 「ノート」を整理する
- ③ 計算や問題は、もう一度すべてやり直す
- ④ なぜ、そのような解答になるのかよくわからない場合には、自分の力で考える



(5) 「定着(身につける)」

<音読>

①テキストや資料をスラスラよく読めるようになるまで声を出して読む練習をする

②英語は発音練習を繰り返す

<アクセント・イントネーションに注意>



<暗唱>

③大切なことは、何も見ないで言えるまでにする(暗唱)。

特に大切なことば(語句)の「定義」は、何も見ないで言えるまでにする(暗唱)

<書き取り>

④よく書けなさそうな語句や、はじめて学ぶ語句は、「書き順」も含めて、「楷書」で正確に「書く練習」を行う



<計算・問題練習>

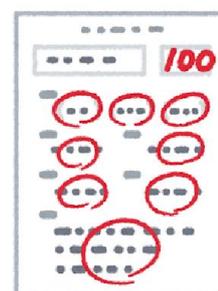
⑤一度解き、なぜそのような「正解」になるのか、よく理解できた問題は、「計算や問題」を見た瞬間に、パッパッパッと「正解」が出せるまで何回も解く練習をする

(6) 以上をていねいに行い「深い理解」を目指す

①「深い理解」とは、自分のことばで言える(表現・説明できる)こと

②テストでよい点数を取れること

③仕事や社会的活動で用いることができること



Q 2 : 「これからの社会」と「そこで求められる能力」とは何ですか

A : (1) 「知識基盤社会(知識が基盤となっている社会)」

→ 「知識・情報・技術を相互作用的に用いる能力」

(2) 「グローバル社会」 → 「多様な集団で交流する能力」

○ 「エポケー」(「思考停止」し、相手のいうことを理解することを心掛ける)

「～さんは、～とお考えなのですね」などと「付加疑問文」で確かめる

(3) 「課題山積社会」

→ 「自律的に行動する力」



Q 3 : 行動の基本は、何だと考えますか

A : すべての行動の基本は、「価値(大切さ)」「意味」「秩序」だと考えます

(1) 「価値(大切さ)」

- ①ものごとの価値(大切さ)は何か
- ②自分の力で、自分たちの力で考える



(2) 「意味」

- ①自分にとっての意味、社会にとっての意味を考える
- ②「意味付け」を行う

(3) 「秩序」

- ①「何をすべきか」「何をしないか」を「自己決定」
 - 「トレード・オフ」(しないことも決める)
- ②自分で、自分たちで、ルールを決める
- ③その秩序に基づき行動する→「自律的に行動する能力」



Q 4 : 「読解力(ものごとを読み解く力)」を身につけるには、どうしたらよいですか

A : 辞書・新聞・読書・図書館に親しみ、読解力を身につけることをおすすめします

(1) 「辞書」 ①ことばは力、②語彙力は力、③身につけていることばの数を増やす

- 「辞書」は「武士の刀」

(2) 「新聞」

- ①新聞を毎日 30 分以上読む
- ②「自分で考える力」「批判的思考能力(クリティカル・シンキング)を身につける」
- ③同じ新聞だけでなく、異なった新聞を読む



- 英字新聞を読む「Japan News」「Japan Times」「New York Times」を毎日読む

(3) 「読書」

- ①本は最後まで読む…まずは最初の 10 ページ
- ②気に入った作者・著者の代表作を読む
- ③全集にも挑戦
- ④本は何回も読む(これぞという本は 5 回、10 回読む)
- ⑤著者・作者との「時空を超えた対話を！」
- ⑥「書き込み」のススメ→「書抜き読書ノート」



(4) 「図書館」…図書館を、自分の「居場所サード・プレイス」の一つに！

- ①学校図書館
- ②公共図書館
- ③大学図書館
- ④街角図書館(私設図書館)



Q 5 : 仕事とは何ですか。人は何のために働くと考えますか

- A : (1)仕事とは、「製品やサービスを提供して、顧客の問題を解決すること」だと考えます
- ①仕事とは、「製品やサービスを提供することで、お客様(顧客)や社会のお役に立つこと」
 - ②すべての仕事には「顧客」「お客様」がいます
 - *では一体、自分の仕事のお客様は誰かという問題があります
 - 「顧客の定義」
 - *どのような「分野・事業領域(企業ドメイン)」で、「顧客の問題を解決するか」
 - ③仕事とは、製品やサービスを提供し、「顧客の問題解決(Customer Solution)」をすること
 - *「顧客の問題」とは何か。続いて「問題の発見」、「応急措置(とりあえずどうするか)」、「制度変更(ゆくゆくはどうするか)」、更には、「仮説」「検証」(PDCA サイクルを回す)と続きます



(2)「マーケティングの 4P」

製品やサービスを提供しても、顧客に購入してもらえなければ仕事にはなりません
顧客にとり購入しやすい条件とは何か、これが「マーケティングの 4P」です

＜「マーケティングの4P」と「各々のPの、顧客に対する意味(4C)」とは＞	
＜マーケティングの4P＞	＜顧客にとっての意味(4C)＞
(1) Product(製品・サービス)	…顧客の問題解決(Customer Solution)
(2) Price(価格)	…顧客のコスト・負担(Customer Cost)
(3) Place(場所・流通)	…顧客の利便性(Convenience)
(4) Promotion(販売促進・広報)	…顧客とのコミュニケーション(Communication)

(3)人はなぜ働くのか

- ①仕事を通してお客様や社会のお役に立つため
- ②生活できるだけの収入を得るため



- ・「自己責任」「自助努力」「自分の未来は自分で切り開く」
- ③仕事を通して自己実現するため
 - ・仕事の中で自分の夢や希望を実現すること
- 以上を御活用、「NPOのマネジメント」を考えることを、おすすめします

Q 6 : 質の高い教育で地域をマネジメントするには、どうすればよいと考えますか

A : (1) 「哲学の街・足利づくり」を提言します

- ① 「日本最古の学校、足利学校のある街」
* 足利学校は論語など儒教の学問的中心でした



- ② 「奈良時代からのお寺のある街、足利」
③ 「相田みつを」「ジョージ秋山」「田中正造」

○ 「毎年 11 月第 3 木曜日」は国連が定めた「ユネスコ世界哲学の日」です
○ 本年 11 月 21 日(第 3 木曜)には、「ユネスコ世界哲学の日・記念講演会」が足利商工会議所 4F わたらせホールで「今、哲学しよう」をテーマに、開催されます

(2) 「論語と 5 S による街づくり」を提言いたします

「論語と 5 S (ゴエス)」

- ① 「整理」(seiri) … いらぬものを処分する
② 「清掃」(seisou) … きれいに掃除をする
③ 「整頓」(seiton) … ものと同じ場所に置く
④ 「清潔」(seiketsu) … ①～③を保つ
④ 「躰」(shitsuke) … 自分から進んで行う



○ 足利商工会議所には日本で唯一の<足利 5 S 学校>があり、
○ 2024 年 11 月 7 日、8 日は「第 5 回 5 S サミット」が開催されるほど、足利市は「5 S」がさかんです。是非、御参加ください

(3) 「教え方日本一の足利づくり！」を提言いたします

- ① 幼児・小学・中学・高校・大学・専門学校・大学院など、「初等教育」「中等教育」「高等教育」など「学校教育のあらゆる分野で、教え方日本一」を目指す

○ 「教科外教育」でも、「教え方日本一」を目指す

- ② 「産業教育」「民間教育」「生涯教育」など「社会教育のあらゆる分野で、教え方日本一」を目指す

○ 毎年、5 月最終日曜日、開倫塾では「全国模擬授業大会」開催しています

来年度は、2025 年 5 月 25 日(日)、白鷗大学足利高校をお借りして、「第 18 回全国模擬授業大会」を開催します。是非、ご参加ください

- ③ 「家庭教育のあらゆる分野で、教え方日本一」を目指す

○ 「足利子育て支援ネットワーク」は、知る人ぞ知る、この分野では日本のベストプラクティスです

○ 「認知症予防教育」でも、日本一を目指すことを提言いたします



Q 7 : 御意見、御質問があれば御自由にどうぞ

(1) _____

(2) _____

(3) _____

ご清聴ありがとうございました

感謝

— 9 月 5 日追記 —